



京都府丹後保健所HPバナー

No.10

新型インフルエンザ NEWS

～毎月12日(インフル)は、新型インフルエンザを考える日～

編集／発行 (京都府丹後広域振興局)
新型インフルエンザ対策ワーキング会議

丹後保健所

検索

<事務局>

京都府丹後保健所(丹後広域振興局健康福祉部)
保健室 感染症・難病担当

〒627-8570 京丹后市峰山町丹波 855

TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368

www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

もくじ

- ・H7亜型①
- ・个人防护具.....①
- ・用語解説(アジュバント).....②
- ・家族を守る(Vol.3).....②

H7亜型

亜型:その型の総称
(H7亜型:H7N1～H7N9)



先月末、愛知県のウズラ農場のウズラから高病原性鳥インフルエンザウイルス(H7亜型)が検出されました。国内農場での発生は2007年1月～2月の宮崎県と岡山県(どちらもH5N1型)以来です。国内でH7亜型が確認されたのは1925年のニワトリ以来です。

- ・低病原性(弱毒性) H5、H7以外
- ・高病原性(弱毒性・強毒性) H5、H7

今回のウイルスは弱毒性で、ウズラは1羽も死んでいません。鳥インフルエンザウイルスは、本来すべて弱毒性ですが、H5型とH7型は、鶏舎内等で感染が繰り返されれば、数ヶ月で強毒性に変化する恐れがあります。日本では、H5型とH7型は家畜伝染病予防法で「高病原性」と定められています。

現在、世界で人が感染し死亡している鳥インフルエンザの大半はH5N1型で、1996年頃に強毒性に変化したと考えられています。

<参考文献>
新型インフルエンザH5N1
岡田晴恵氏 田代真人氏

診察場面での強い味方

個人防護具

ヘッドキャップ

(役割) 飛沫感染を防ぐ
(部位) 毛髪
(種類) 不織布製
ビニール製

フェイスシールド

(役割) 飛沫感染を防ぐ
(部位) 目
(種類) プラスチック製
※ゴーグルもある。

ビニールガウン

(役割) 飛沫感染を防ぐ
(部位) 腕、身体前面
(種類) ビニール製
※患者毎に交換する。

マスク

(役割) 飛沫感染を防ぐ
(部位) 鼻と口
(種類) 不織布製マスク(住民)
N95マスク(医療従事者)

ガウン

(役割) 飛沫感染を防ぐ
(部位) 身体全体
(種類) 不織布製

手袋

(役割) 接触感染を防ぐ
(部位) 手
(種類) ラテックスゴム製
※2枚重ねでつけ、患者毎に外側の手袋を交換する。



感染防護訓

個 人個人の手洗い・うがい・マスク・外出自粛等の防衛で感染拡大を防ぐ。

人 の命はとても尊い。自分と家族、友人、同僚すべての人を感染から守る。

防 ぐのは患者からの感染と医療機関等での二次感染。正しい防護具の装着で感染を防ぐ。

も るのは患者の命と接する人全ての命。徹底した感染予防が、その成果を果たす。

具 体的にはヘッドキャップ・ゴーグル・マスク・手袋・ガウン等で感染を防ぐ。

新型インフルエンザの感染拡大を防ぐため、患者やその疑いのある方と接する人は、自分自身が感染しないよう、个人防护具(PPE: Personal Protective Equipment)を正しく装着することがとても重要です。

医療関係者や搬送に携わる者、調査従事者等は、普段から个人防护具の装着訓練を行っておく必要があります。

新型インフルエンザの感染経路である飛沫感染と接触感染を念頭に予防策をとることが大切です。

受診する時は必ずマスクしてね!



ソナウレ君

(用語解説) アジュバント

プレパンデミックワクチンにも使用されているアジュバントは、薬物の作用を増強するために加えられる試薬のことで、ラテン語のadjuvare(助ける)に由来します。

免疫学でのアジュバントは、ワクチンの免疫能力を高めるために加えられ、利点等は次のとおりです。

- | | |
|-------|--|
| (利 点) | 効果が高まるため、少量のワクチンでより多くの人への接種が可能となります。
また、アジュバントが含まれていると、ウイルスに多少の変化があってもワクチンの効果を保つことができます。 |
| (原 料) | 深海ザメの脂質やそれに似た合成脂質、水酸化アルミニウムやリン酸アルミニウムのゲルなどです。 |
| (使用例) | 日本では、アルミニウムのアジュバントはプレパンデミックワクチンの他、ジフテリア、百日ぜき、破傷風の三種混合ワクチンや肝炎ワクチンにも含まれ広く使われています。しかし、スプリットワクチン(毎年接種のインフルエンザワクチンなど)への添加は、効果が劣ります。 |
| (期 待) | アジュバント添加ワクチンは、系統(クレード)の異なるH5N1型ウイルスに対しても効果が期待されます。 |
| (課 題) | アジュバントの免疫増強の仕組みは、十分に解明されていません。 |



<参考文献>・病気の魔女と薬の魔女 岡田晴恵氏 ・新型インフルエンザH5N1 岡田晴恵氏 田代真人氏

自宅での看護の注意点

しっかりした装備で臨む

飛沫感染のほか、手を介しても感染するので、マスク・ゴーグル・ビニール手袋等を着けて看護します。また、手洗い・うがいを頻繁に行いましょう。

感染者の排泄物にも注意

感染者の排泄物は、ウイルスに汚染されている可能性が高いので、直接手を触れないようにビニール手袋などをつけて、すぐに処理します。鼻水や痰などの体液がついたティッシュも素手で直接触らずにビニール袋に入れて、しっかり口を縛って廃棄します。また、感染者が利用したトイレは、しっかり清掃して殺菌します。

新型インフルエンザで想定される症状

初期症状

- 発熱(38℃以上)
- 強い倦怠感、筋肉痛、関節痛
- 腹痛や下痢

その後

- 息苦しさ、激しい咳
- 呼吸困難などの肺炎症状
- 鼻血や歯茎からの出血
- 多臓器不全

※H5N1型鳥インフルエンザで起こる症状から想定した症状なので、新型になったときには、異なっていることも考えられます。



家族を守る!

Vol. 3

消毒の方法

感染者の手が触れた所、触れた可能性がある所はすべて消毒しましょう。

- 熱湯消毒(80℃以上10分)
- 市販の塩素系漂白剤(ドアノブなどには、300倍に薄めて使用します。ペーパータオルなどにしみこませて拭き取りましょう。)
- 消毒用エタノール

その他の注意

感染者とタオルなどを共用してはいけません。また、入浴の際、感染者は、シャワーで済ませ湯船を共用しないようにしましょう。

アジュバントめ!
俺様の威力を
弱めるとは!



バミック

新型インフルエンザNEWS No.11

(平成21年4月12日発行)

- ・トピックス
- ・改訂ガイドライン
- ・用語解説(BCP)
- ・家族を守る(Vol.4)

<出典> 新型インフルエンザ予防マニュアル 監修 国立感染症研究所 岡田晴恵氏
※内容を一部変更し、掲載させていただきました。